



B型肝炎ワクチンのお知らせ



B型肝炎ワクチンはB型肝炎ウイルスに感染して起きる、B型肝炎という肝臓の病気を予防するワクチンです。1歳になる前に3回の接種を終える必要があります、1回目の接種から3回目の接種を終えるまでには、おおよそ半年間かかります。

【対象者・接種方法などについて】

0歳の方（1歳の誕生日の「前日」まで）

※ただし、* 母子感染予防の対象者は対象外になります。（* HBs抗原陽性の方の胎内又は産道においてB型肝炎ウイルスに感染するおそれのある方であり、抗HBs人免疫グロブリンの投与に併せて組換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある方）

【接種回数】

3回

標準的な接種期間になったら、できるだけ早く予防接種を受けて病気にかからないようにしましょう！
無料で接種できるのは1歳の誕生日の前日までだよ。



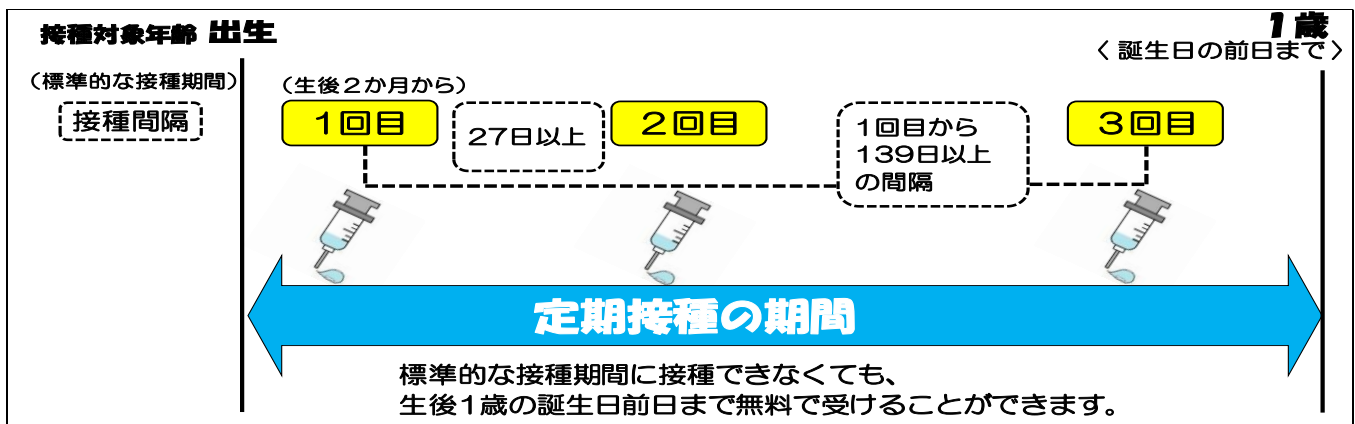
【接種間隔】

27日以上の間隔をおいて2回皮下に接種後、1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回皮下に接種します。

【標準的な接種期間】

生後2か月に至った時から生後9か月に至るまでの期間

【接種方法】



【予防接種の受け方】

【接種前】医療機関で予防接種を受けます。

あらかじめ電話で予約の有無、接種日時を確認してください。

おおさかしいたくいりょうきかん
大阪市委託医療機関はこちら



〔接種当日〕 母子健康手帳及び予診票を持参し、医療機関にある実施申込書に必要事項を記入します。体温を測定し医師の診察により接種できるとの判定を受けた結果、保護者が同意（サイン）をして接種を受けます。

【予防接種を受ける前に】

予防接種は体調の良い時に受けてください。気になることや、わからないことがあれば医師に相談し、十分に理解したうえで接種を受けましょう。

【B型肝炎の特徴とワクチン及び副反応】

病気の 特徴	B型肝炎ウイルスが血液や体液を介して感染して起きる肝臓の病気で、感染した時期や健康状態によって、一過性の感染に終わるもの（一過性感染）と、ほぼ生涯にわたり感染が継続するもの（持続感染）に大別されます。 持続感染の多くは出生時または乳幼児期の感染であることが知られており、そのうち10～15%は感染から年月を経て慢性肝炎を発症し、その後、肝硬変・肝細胞がんを発症することがあります。
ワクチン	組換え沈降B型肝炎ワクチンは世界の180カ国以上で使用されており、効果と安全性が高いワクチンです。既定の接種回数で、乳幼児、小児、青少年の95%以上に感染予防に必要な抗体ができます。予防効果は少なくとも20年続くと考えられています。
副反応	10%前後に倦怠感、頭痛、局所の腫脹、発赤、疼痛等の副反応が認められます。

【予防接種を受けた後の注意】

- 接種を受けた後に、急な副反応が起こることがありますので接種後30分間はそこで様子をみるようにし、30分たってから医療機関を出るようにしましょう。
- 接種後は副反応の出現に注意し、接種部位の腫れ、高熱、けいれん（ひきつけ）、その他変わったことがあるときは、すみやかに医師の診断を受け保健福祉センターに連絡してください。
- 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射部位をこするのはやめましょう。
- 接種当日は、体調の変化に気を配り、激しい運動はさけましょう。

【各区保健福祉センター問い合わせ先】



保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号	保健福祉センター	電話番号
北区	06-6313-9882	天王寺区	06-6774-9882	城東区	06-6930-9882
都島区	06-6882-9882	浪速区	06-6647-9882	鶴見区	06-6915-9882
福島区	06-6464-9882	西淀川区	06-6478-9882	阿倍野区	06-6622-9882
此花区	06-6466-9882	淀川区	06-6308-9882	住之江区	06-6682-9882
中央区	06-6267-9882	東淀川区	06-4809-9882	住吉区	06-6694-9882
西区	06-6532-9882	東成区	06-6977-9882	東住吉区	06-4399-9882
港区	06-6576-9882	生野区	06-6715-9882	平野区	06-4302-9882
大正区	06-4394-9882	旭区	06-6957-9882	西成区	06-6659-9882